



# さかいっこ かけはし通信

No.7 2025.11

堺市幼児教育センター



この時期、多くの学校園では、園児や1年生が秋の自然に親しむ活動に取り組みます。「秋の遊び」を通して、幼保小の円滑な接続をぜひ考えてみましょう。

## 幼児

あきの自然いっぱいの中で  
＜こどもの姿＞  
秋の自然物に触れ、集めたり、種類や大きさなどによって分けたり、色々なものに見立てたりしながら、遊びに取り入れ、自然の美しさや、不思議さ、季節の移り変わりなどを感じる。

秋の自然に浸る中で、こどもの感じる心を大切に、その子なりの遊びが継続するように、環境構成を考えるといいね。

落ち葉をみつけて

葉っぱや木の実を使って

今度はうまく  
転がるかな？



うわあ。きれい！  
いっぱい集めよう。



ごちそうを作るよ。  
ドングリ〇〇にしよう。



ドングリコースター

## 1年生 生活科

### ＜単元名＞

きせつとなかよし あき

### ＜ねらい＞

秋の自然物を使って、遊びや遊びに使うものを工夫してつくる中で、自然の面白さや不思議さに気づき、みんなと楽しみながら遊びや生活を楽しく創り出そうとする。



たとえば「あきみつけ」から葉っぱや木の実を使ったかざりやおもちゃづくり、やがてみんなで楽しむお店屋さんに・・・  
こどもの思いや願いを実現する流れが大切だね。

### 秋の自然とのふれあいを大切にする

自然の面白さや不思議さやへの気づき

### 園での経験を想起させる

イメージの広がり、自信



### 環境設定を工夫する

秋の木の実や葉っぱなどの掲示物  
絵本や図鑑 材料や道具  
つくったり試したりするスペース

### 試行錯誤をする

つくっては試し、  
試してはつくる中で生まれる工夫



### 友達と学び合う

工夫や気づきの広がりや深まり  
一緒につくったり遊んだりする  
楽しさや満足感

園でも大事にしていることがいっぱいだね。  
小学校では、より自分たちの力で活動を進めたり、気づきの質を高めたりできるよ。  
これまでの経験や園の環境設定の仕方など、  
園の先生に聞いてみよう。



「どんなお店にしたらもっと楽しくなるのかな？」  
グループで考えたことを全体交流しています。  
板書で整理することにより、他のグループとの考えの比較ができ、改良する視点の広がりや深まりが生まれます。